

JOTO

Q&A

城東高校への
ご質問に
お答えします

QUESTION AND ANSWER

入学者選抜について

Q 高校入試について教えてください。

令和6年春の入試を例に挙げて説明しましょう。定員は320名で、2月の「特別入試」と「海外帰国生徒（海外生活が2年以上で、帰国後2年以内）のための入試」、そして3月の「一般入試」の3つが実施されました。特別入試は国際教養分野と音楽分野に分かれ、それぞれ2年次から国際教養学類、音楽学類に進む生徒のための入試です。海外帰国入試と一般入試で入学した生徒は2年次から4つの学類のどれを選ぶことも可能です。その他については次のとおりです。実技の過去の問題（一部）は、本校のホームページで見ることができます。

R5年度の場合	日程	募集人員	検査の内容等
特別入試 （国際教養分野）	2月 8,9日	30名	学力検査（国数英）、面接 実技Ⅰ（注1） 実技Ⅱ（注2）
特別入試 （音楽分野）	2月 8,9日	25名	学力検査（国数英）、面接 実技（新曲視唱）（注3） 演奏実技 （声楽または任意の楽器）（注4）
海外帰国生徒入試	2月8日	若干名	面接、口頭試問
一般入試	3月 8,9日	320から 上記合格者を 引いた数	学力検査（国社数理英）、面接

（注1）実技Ⅰ＝「聞き取った英文をもとに、自分の考えなどを英語で書く」
（注2）実技Ⅱ＝「英文の音読、その後英語による口頭での質疑応答」
（注3）中学校で学習する程度の演奏記号（強弱記号など）を含む、20小節程度の新曲課題
（注4）声楽又は任意の楽器で5分以内の演奏（ただし、ピアノの場合はバロック、古典・ロマン派のピアノ作品の中から任意の曲を演奏する（緩徐楽章は除く））

校風について

Q 城東生の気質は？

「進取・協同」の校訓が示すとおり、何事に対しても前向きに取り組む、お互い協力し合いながら目標に向かってチャレンジする気風にあふれています。生徒たちは自主自律の精神を持ち、友人と切磋琢磨しながら自己を高めようと努力しています。学習に落ち着いて集中する姿勢で臨み、けじめのある集団となっています。また、全県学区の高校であり、毎年県下各地はもとより海外からも生徒が入学してくるため、多くの出会いがあり、新鮮な気持ちで高校生活を始めることができます。そのことにより、お互いを尊重し、相手の気持ちを大切にすると人間として成長することができます。

Q 施設・設備は充実していますか？

校舎の周囲にはたくさんの樹木が植えられ、緑豊かな環境が整っています。2か所ある中庭は、コンサートなど多目的に利用されています。グラウンド横には雨天練習場があり、授業や屋外の部活動で活用されています。設備面では、普通教室だけでなく、全ての特別教室にエアコンが設置され、また、全教室にWi-Fiアクセスポイントが整備されています。本校独自の施設としては、生徒が昼食時間や放課後などに自由に利用できるコモンホールがあり、憩いの場となっています。さらに自習のためのラーニング室もあり、早朝、昼休み、放課後、土曜日、長期休業中と多くの生徒に利用されています。全ての普通教室にプロジェクターが設置され、授業で活用されています。本校生徒のみが利用できる「探究ポータルサイト」も開設されていて、一人一台端末でいつでも新聞記事や先行研究等の検索ができます。別棟の校友会館には食堂があり、定食をはじめ豊富なメニューが揃っており、昼食時には多くの生徒で混み合っています。また、すべての生徒に、鍵付きの個人ロッカーが用意されて貴重品の管理にも役立ちます。

Q 校則はどうなっていますか？

城東生は校則を最小限にとどめ、生徒自身が自らの行動に責任を持つことで、人間的に成長しようという「自主・自律の4原則」を受け継いできました。校則には一般的な禁止事項はありますが、生徒の自主的・自律的な判断と討議による決定を最大限に尊重して校内の「ルール」が作られています。不合理な点があれば生徒会執行部を中心にクラス討議→生徒総会の手続きを経て校則改定を提起できるようになっています。スマートフォン（携帯電話）についても、生徒による討議を経て、生徒自身でルールを決めて使用しています。

学びを効果的に サポートする設備



全教室にWi-Fi
アクセスポイントを整備



充実したICT環境



月～土曜日に自習に
使えるラーニング室



授業でも活用できる図書館整備

Q 学校祭について教えてください。

城東高校では、学校祭を「翠緑祭（すいりょくさい）」と呼びます。スクールカラーである「緑」を基調に第一期生に名称を公募し決定して以来、この名称で親しまれています。今年は文化の部を9月6日（金）と9月7日（土）に行い、体育の部を9月10日（火）に行います。文化の部2日目は一般に公開しています。昨年は3000人を超える来校があり、今なお進化し続ける学校祭です。生徒の有志によって組織された「翠緑祭実行委員会」が企画・運営を行っています。「陽（よう）」「彩（さい）」「晴（サニー）」「宙（そら）」「響（ひびき）」「栞（しおり）」など、学校を取り巻く情勢を反映したテーマが公募によって決定され、そのテーマの趣旨に沿って各部・委員会・クラス・有志の展示・発表が行われています。この内容については、多方面から高い評価を受けています。特に、全校生徒が参加してつくる「全校制作」は、翠緑祭のシンボルになっています。

Q 翠緑祭の他にはどのような学校行事がありますか？

5月上旬に1年次では、新入生研修（校内）（校外）を、2・3年次生はジップアリーナで球技大会を実施します。また、1年次の夏休みには海外文化体験研修が予定されています。令和6年度は、カナダ（バンクーバー）とFLAT in Osaka（Foreign Language Active Training）で実施予定です。また令和5年度は、2年次生が3月にオーストラリア（ブリスベン）で海外修学研修を実施しました。現地ではホームステイや、語学研修とともに貴重な異文化体験ができます。2年次では、学類研修があります。それについてはp.9-10で詳しく説明しています。その他の特色ある学校行事としては、秋のウォーキング（1年次）、百人一首大会（1年次）などがあります。また、学類の特色を生かして、国際教養学類の英語集中宿泊（1泊2日）、音楽学類と吹奏楽部・管弦楽部・合唱部による定期演奏会（12月下旬、岡山シンフォニーホール）があります。年間を通じてたびたび行われる中庭コンサートや書道部、ダンス部のパフォーマンスは、生徒全員が楽しみにしています。城東高校のホームページのブログで、いろいろな行事を紹介していますので、ぜひご覧ください。

Q 部活動は盛んですか？

部活動と勉強の両立は高校生にとって難しい課題です。しかし、城東高校では全校生徒の9割程度が何らかの部・同好会（合わせて32ある）に所属しており、朝・放課後・休日と意欲的に活動しています。日頃の短い練習時間を集中力と練習メニューの工夫、合宿などでカバーし、対外試合やコンクールなどで優秀な成績を収めています。近年の主な成績は次の通りです。文化部では、合唱部・管弦楽部が全国大会へ、音楽学類からはピアノや声楽で全国大会上位入賞を果たすなどしています。運動部では、陸上競技部がインターハイに出場しました。中国大会へは、テニス部、野球部、バドミントン部が出場しました。この他にも、多くの部が毎日熱心に練習に励み、県大会で優秀な成績を収めています。このように城東高校では、多くの部および個人が試合やコンクールで活躍するとともに、「文武両道の城東」を目指して日々活気ある活動を行っています。

学類について

Q 学類とは何ですか？

2・3年次における、進路や系統に沿った選択科目群、およびそれを選択した生徒の集まりのことを指します。本校では「人文社会学類」「国際教養学類」「音楽学類」「理数学類」の4つの学類があります。

Q 学類に定員はありますか？

ありません。

進路指導について

Q 城東高校の進路指導について教えてください。

城東高校では、2人担任制をとっており、学期ごとの面接週間だけでなく必要に応じて繰り返し個人面談を行い、生徒一人ひとりに対し、細やかに対応しています。面談ではキャリア・パスポートを活用しながら個々の生徒の進路志望を大切に、不得意科目を克服し、目標を実現する方策を多くの資料を用いて探っていきます。そして、学生として社会人としてどのように生きていくかを考えながら、そのために今何をすればよいのか話し合います。また、ロングホームルームでの大学（学部・学科）調べ、1年次の希望者による東京大学での研修、2年次の学類研修、各年次の高大連携事業による大学の講義の受講、社会人講師による授業や講演会、大学ミニ説明会など、進路を考える機会を数多く設けています。さらに、全年次でGTECを受験し、授業で伸ばした4技能の力をはかりながら、その得点を大学受験の際に生かすこともできます。難関大学志望者や小論文・口頭試問・プレゼンテーションなどが受験に必要な生徒に対しては、難関大講習会などの学習支援や個別指導を継続的にを行っています。希望者対象の土曜講座や必要に応じた補充学習などで、教科の内容を補うこともできます。進路指導課では、年次ごとに「時計台」という進路だよりを月2～4回程度発行し、タイムリーな情報を提供しています。進路資料室には、多くの進路資料が備え付けられ、生徒が自由に閲覧できるようになっています。また大学入学共通テストにおいて求められる「思考力、判断力、表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、授業以外でもSGH、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」に続き「グローバル・リーダー育成拠点構築事業」において、学類コア科目と連携した課題研究など日々の活動を通して培われています。その他、さまざまな角度から進路実現に向けて学びのサポートをしています。